

令和6年度学校経営計画書

学校名 三次市立田幸小学校
校長名 藤井俊介

I 学校の状況

学級数	4学級	児童数	38名	教職員数	8名
メールアドレス	takoh-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/tako/				

II 学校教育目標

塩町中学校区	『確かな学力を身に付け、他者との関わりを通して 自らを伸ばそうとする子供の育成』
田幸小学校	ふるさとを愛し 主体的に学ぶ ポプラっ子の育成 ～タンポポのように、強く、美しく、軽やかに～

【めざす子ども像】

強 く： ねばり強く努力する子
美 しく： 美しい挨拶ができる子
軽やかに： 軽やかに行動できる子

III 使命・存在意義（ミッション）

- 自分たちが育った地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする志をもった児童を育成する。
- 夢や目標の実現に向かって、他者と協力し、主体的に学び続ける児童を育成する。

IV 重点事項（努力点）

小中9年間を通して児童生徒に身に付けさせたい資質・能力を次のように整理し、塩町中学校区の小中5校で連携しながら組織的に取組を進める。

- 生きて働く**知識・技能**の習得
- 未知の状況にも対応できる**思考力・判断力・表現力等**の育成
- 学びを人生や社会に生かそうとする**学びに向かう力・人間性等**の涵養

本校は今年度、「思考力・判断力・表現力を高める算数科授業の創造～児童が主体的に学ぶ複式・少人数学級の授業づくり～」を研究主題とした取組を継続して推進する。具体として、算数科で取り組んできた「学び合う複式型の授業づくり」を更に発展させるとともに、児童の学習状況に応じた適用問題の作成や活用、ICT機器の効果的活用等によって、指導と評価の一体化を図りつつ主体的な学びの基礎を培っていく。

また、ふるさとに愛着をもつ児童の育成に向けて、地域との連携を強化し、生活科や総合的な学習の時間等で、地域の人々と共に活動する場を計画的に取り入れていく。

V 中心価値・行動規範

<p>【めざす教職員像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高い倫理観と豊かな人間性をもった教職員 ○連携・協働して職務を遂行できる教職員 <p>【めざす学校像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全・安心な学校 ○夢や希望を育む学校 ○地域ととともにある学校
--

VI 現状分析と今後の取組

令和5年度の評価項目と達成度	7月	2月	差
児童アンケート「友達の意見を聞いて、気づいたことや考えたことを発表している」の項目において、肯定的評価85%以上にする。	104.1	94.1	▲10.0
国語科、算数科テストの学期平均が70点以上、または前学期の平均点を上回る児童を90%以上にする	国 101.5 算 92.1	国 101.5 算 88.9	0 ▲3.2

児童アンケートの目標達成度は10%減少。徐々に学習内容が難しくなり、自信をもって発表できる児童が減ったと分析。わからないことや迷っていることを素直に伝え合い（訊き合い、聴き合う）、一緒に考えていこうとする学習集団づくりや、児童の躓きに対して適時適切に支援できる教師のファシリテーション力向上が課題である。

テストの学期平均では算数科に課題が見られるため、みよし結芽人育成研修と並行して校内研修でも算数科の授業を重点的に研究し、実践、検証、改善を続けていく。

令和5年度の評価項目と達成度	7月	2月	差
児童及び保護者、学校関係者アンケートで「挨拶」に関する項目の肯定的評価の平均を80%以上	児 121.2 保 110.0 関 106.2	児 121.5 保 86.2	0.3 ▲23.8
50m走の記録が向上した児童を75%以上にする	-	105.8	
メディアコントロールウィークの目標を達成できた児童を80%以上にする	79.0	76.0	▲3.0

校内で職員に対してレベルの高い挨拶ができる児童は多いが、地域では場に応じた挨拶が十分できていないという声もある。学校の教育活動の中でも幅広く地域と関わる経験を計画的に取り入れ、コミュニケーションの基礎としてその場に応じた挨拶ができるよう指導を工夫する。

地域講師による走り方教室やミニ駅伝の取組等を通して、走る練習に意欲的に取り組む児童が増え、記録向上につながった。握力やボール投げの力も県や全国の平均に達していないので、児童が意欲的に取り組む活動を組織的に進めていく。

家庭で年4回メディアコントロールチェックを行い、健康に配慮したメディア利用について児童や保護者の意識を高めることができた。ただ、家庭ごとにルールが違ったり、達成できない児童が固定化したりするため、個別の指導支援を工夫する必要がある。

令和5年度の評価項目と達成度	7月	2月	差
児童アンケート「田幸には自慢できることがある」「田幸のことをもっと知りたい」の肯定的評価90%以上	101.5	106.4	4.9
各種便りの発信回数目標を達成する。	100.0 HP205.0	108.3 HP206.0	8.3 1.0

生活科や総合的な学習の時間等に地域交流や農業体験学習を計画的に取り入れ、地域の人と多様な関わりをもつことで、自分の地域に関心を持ち、もっと知りたい、田幸ってすごい、と感じる児童が増えている。令和7年度からのCS導入も視野に入れ、更に地

域と深く繋がった教育活動を創造し、地域とともにある学校づくりに取り組む。

積極的に学校からの情報発信を行い、保護者や地域から高い評価を受けている。今後は一人一台の ICT 機器も活用しながら、家庭・地域・学校が情報を相互に発信・共有して、更に深く広く連携できる体制を築いていく。

VII 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための取組・方策	評価項目
確かな学力	主体的、対話的で深い学びを推進し、学力の向上を図る。 【思考力】 【表現力】	学び合いを通じた思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○学習リーダーの育成と教師のファシリテート力向上 ・手引き等を使って学年に応じた学習リーダーの役割を児童に自覚させ、支援と評価で定着させる。 ・個々の児童に応じた視覚的支援の工夫改善に努める。 ・ICTを効果的に活用し、個々の児童の主体的に学ぶ力を伸ばす。 ○児童の実態に応じた適用題を作成し活用する。 ・算数科の見方・考え方を働かせて問題を解く経験を積み、学習内容の理解・定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「学習リーダーになった時、授業の流れを意識して学習を深めることができる」「学習リーダーと協力して学び合う学習ができています」に対する肯定的評価を90%以上にする。 ・教職員アンケート「個別最適で協働的な学びの実現のために、ファシリテーターとして児童に寄り添う授業を仕組んでいる」に対する肯定的評価を75%以上にする。 ・算数科の単元末テスト平均が70点以上、または前回は上回る児童を90%以上にする。 ・教師が作成した適用題の正答率を80%以上にする。
豊かな心・健やかな体	自他の気持ちを考え、進んで行動できる児童を育てる。 【判断力】 心身の健康や体力向上にねばり強く取り組む児童を育てる。	相手意識、目的意識をもって表現できる子の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○場に応じたレベルの高い挨拶ができるよう、児童会を中心に挨拶運動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童及び保護者、学校関係者アンケートで「挨拶」に関する項目の肯定的評価の平均を85%以上にする。
		課題に気付き、改善のための目標を設定して、やる抜く子の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○握力、投力の向上を目指す。 ・自己記録更新の目標を立て、休憩時間や体育の授業を通して体力向上を図る。 ○SNSや携帯(スマホ)・ゲームの健康的で安全な使い方について自覚を高め、ルールを守って使えるようにする。 ・メディアコントロールウィークを定期的実施し、メディア利用と健康のバランスを考える場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・握力、ソフトボール投げの記録が向上した児童を70%以上にする。 ・メディアコントロールウィークの目標を達成できた児童を80%以上にする。
信頼される学校	児童・保護者・地域から信頼される「地域とともにある学校」を実現する学校経営を行う。	地域と繋がる生活科・総合的な学習カリキュラムの工夫改善と積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○地域と綿密に連携して生活科・総合的な学習等の充実・発展を図る。 ○各種便りやHPで計画的に学校の情報を発信する。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより【月1回以上】 ・保健だより【月1回以上】 ・学級通信【月2回以上】 ・HP更新【月4回以上】 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「田幸には自慢できるものがある」「地域のことをもっと知りたい」の肯定的評価を90%以上にする。 ・各種便りの発信回数目標を達成する。